

防災・防犯推進室

○防災事業関係

1. 災害対策管理事業

事業名	事業費(円)	事業内容
災害対策用備蓄物資購入事業	3,740,373	災害の発生に備えて、備蓄食料や防災資機材を購入しました。 ・アルファ化米（白飯） 700 食 ・アルファ化米（白かゆ） 100 食 ・アルファ化米（50 食用五目ご飯） 20 箱 ・農協の飲めるごはん 900 食 ・粉ミルク キューブ型（432 g） 20 箱 ・粉ミルク キューブ型（112 g） 13 箱 ・粉ミルク アレルギー対策用（87 g） 13 箱 ・粉ミルク 大豆ミルク（360 g） 2 缶 ・保存水（500ml） 240 本 ・エンジンポンプ 7 台 ・発電機 1 台 ・水中ポンプ 2 台 ・ガソリン缶詰（10 × 4 缶） 3 セット ・灯油缶詰（10 × 8 缶） 20 セット ・分散備蓄用倉庫 2 台
資機材点検事業	127,440	災害時に水防機材が適切に機能するように、点検整備しました。 ・エンジンポンプ 19 台 ・発電機 11 台 ・チェーンソー他 10 台
安全安心スクール事業	117,993	いざという時のための知識や技術を習得して、地域の防災防犯力を高めることを目的に、救命・防災・防犯を統合した「安全安心スクール」を開校しました。 また、すべてのプログラムを受講された方に、安全安心推進リーダー認定証を交付しました。 中学 3 年生を対象とした普通救命技能の習得のための安全安心スクールを開催し、地域の防災力を高めました。 ・スクール開催回数 延べ 34 回 ・スクール受講者数 延べ 1,596 人 ・安全安心推進リーダー認定者数 5 人（累計 107 人）
避難行動要支援者支援事業	5,057,000	避難行動要支援者支援システムの更新及び保守点検を実施しました。
気象観測装置設置事業	530,400	旧狭山・美原医療保健センターに新たに気象観測装置を設置し、超高密度気象観測・情報提供サービス（POTEKA®）を利用することにより、災害の未然防止や早期対応の迅速化を図りました。

事業名	事業費(円)	事業内容
避難所地震解錠ボックス設置事業	359,640	大規模災害等が発生した場合、本市職員が避難所を開設するのに一定の時間を要することから、避難所に地震解錠ボックスを設置し、その中に、避難所、防災倉庫の鍵を保管し、市民が少しでも早く避難できる体制を構築しました。 設置場所 南第二小学校
学校等備蓄推奨事業	1,533,400	大規模災害発生時、学校で待機する場合等に活用するとともに、賞味期限が切れる前に自宅へ持ち帰ることで家庭での防災意識の高揚を促進することを目的に、小学1年生と4年生、中学1年生、教職員の1,962人を対象に、備蓄セットを配布しました。
防災マップ更新事業	1,539,164	土砂災害警戒区域の追加や洪水浸水想定区域などが見直されたことにより、啓発を兼ねて、防災マップを更新し、中学校区ごとに全戸配布しました。

2. 自主防災組織育成事業

現在、自主防災組織は45組織結成されており、組織されている地域の世帯数は18,005世帯です。組織率は、大阪狭山市の全世帯数（令和2年3月末で25,843世帯）に対して、69.7%となっています。

事業名	事業費(円)	事業内容
救出・救護用資機材貸与事業	1,383,380	防災・減災事業の推進のため、新規結成及び未貸与の自主防災組織に救出・救護用資機材を貸与しました。 ・貸与組織数 4組織
防災資機材整備・活動支援事業	1,164,000	自主防災組織が行う防災活動に使用する資機材の購入及び防災活動に対し、補助金を交付しました。 〔防災資機材整備〕 ・補助組織数 11組織 ・補助金額 544,000円 〔防災活動支援〕 ・補助組織数 16組織 ・補助金額 620,000円
地域防災推進リーダー育成事業	60,000	自主防災組織等のリーダーを育成するため「防災士」の資格取得に対し、補助金を交付しました。 ・交付者数 2人

3. 防災訓練事業

事業名	事業費(円)	事業内容
防災訓練事業	1,207,147	○ 市民の防災意識の高揚や災害時に防災関係機関との連携強化を図るため、総合防災訓練を行いました。 ・実施日 令和元年10月27日 ・場所 さやか公園 ・参加団体 62団体 ・参加人数 1,000人 ○ 災害時に地域の特性を踏まえて、実情に即した行動がとれるよう、小学校区を単位とした避難所体験訓練を実施しました。 [南第一小学校] ・実施日 令和元年11月24日 ・参加人数 60人

4. 行政対象暴力対策事業

(1)行政対象暴力対策職員研修会

実施日 令和2年2月7日

会場 市役所3階 第1会議室

内容 ・「暴力団情勢を踏まえた行政対象暴力の現状」等について
・ロールプレイング（疑似体験）研修

受講者 34人

○防犯事業関係

1. 防犯活動への助成金の交付

市内における防犯活動を自主的に推進している大阪狭山市防犯委員会に助成金を交付し、市民の防犯意識の高揚に努めました。

交 付 団 体	交 付 金 額 (円)
大阪狭山市防犯委員会	936,000

2. 黒山防犯協議会への負担金の交付

黒山警察署管内における広域防犯活動に取り組む黒山防犯協議会に負担金を交付し、犯罪の防止・啓発活動の推進に努めました。

交 付 団 体	交 付 金 額 (円)
黒山防犯協議会	468,000

3. 金剛駅西口地域防犯ステーションの運営

安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、金剛駅西口地域防犯ステーションの運営を市民で構成された防犯ボランティア団体に委託し、地域周辺の犯罪抑止に努めました。

受 託 団 体	委 託 金 額 (円)
防犯ボランティアメンバーズ VOSS-M	3,240,000

4. 小学校区地域防犯ステーションの運営

子どもの安全確保とともに、高齢者をはじめ、地域住民が安全で安心して暮らすことができる地域社会づくりのために、自主的に地域防犯活動を行う小学校区地域防犯ステーション運営団体を支援するため補助金を交付しました。

運 営 組 織 数 (校区)	補 助 金 (円)
7	994,461

5. 青色回転灯装備車による防犯パトロール実施及び青色回転灯装備車貸出事業の実施

青色回転灯装備車による防犯パトロールを実施しました。また、地域の防犯活動を推進するため、青色回転灯装備車を自主防犯パトロール団体に貸し出しました。

貸出車両台数 (台)	貸 出 回 数 (回)
2	189

6. 歳末夜警巡回訪問

歳末夜警を自主的に実施している自治会に対して激励金を交付しました。

夜警実施自治会数 (地区)	激 励 金 (円)
55	275,000

7. 街頭防犯カメラ設置費補助事業

地域の防犯活動への支援として、自治会等に街頭防犯カメラの設置費用等の一部を補助しました。

区分	交付団体数(地区)	交付台数(台)	交付金額(円)
カメラ設置	3	19	2,221,000
維持管理経費	2	39	161,000
計			2,382,000

8. 街頭防犯カメラ設置事業

防犯環境の充実を図るため、市内主要駅等の不特定かつ多数の人が利用する公共的な場所へ街頭防犯カメラを設置しました。

区分	台数(台)	事業費(円)
防犯カメラ設置工事費	5	2,876,500

9. 自動通話録音装置貸与事業

オレオレ詐欺や、振り込め詐欺といった特殊詐欺を未然に防止するため、被害を抑止する効果が期待できる自動通話録音装置の無償貸与を行いました。

貸与台数(台)	155
---------	-----